

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 25年度

市町村名	志木市					
提案事業名	志木市みんなでマナーアップ事業					
事業期間	23年度 ~ 23年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 志木駅東口駅前広場ロータリー横断者数					
	(成果検証の具体的な方法) 志木駅東口駅前広場ロータリー横断者数調査により検証					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A	
	従前値 (23年3月時点)	1,600人(1日)	目標値 (25年3月時点)	0人(1日)	実績値 (25年5月時点)	231人 (85.6%)
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市ホームページ・広報において目標値を住民に公表する。				

【事業効果の整理・原因分析】

平成23年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 志木駅東口駅前広場安心・安全化改修工事	○	ロータリー横断者の根絶を図るため、バス乗降口の配置変更の工事を行った。その結果、駅とバス乗降口とが直結されたことにより、利用者の安全が図られた。
② 放置自転車等防止指導事業	△	市民のマナーアップを図るため、志木駅周辺の自転車放置整理区域内において放置防止指導員を増員配置し、放置防止の指導を行った。
③ 路上喫煙防止事業	○	市民のマナーアップを図るため、志木駅周辺の路上喫煙禁止地区において、喫煙のみではなく受動喫煙についても指導を行った。
④		
⑤		
⑥		

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	バスの乗降口を変更した結果、ロータリーを横断する歩行者の数が大幅に減少した。
実施事業について 成果が不十分である点	放置整理区域内の放置自転車の大部分は、買い物客のものであり、自転車を放置しているという意識が薄いと思われる。市民のマナーアップを図るためにも、今後は買い物客を対象とした指導を強化していく必要がある。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	目標値は達成できなかったが、ロータリーを横断する歩行者の数を大幅に減少させることができた。しかし、H25年3月の調査で、依然ロータリーを横断する歩行者は231人という結果であった。この大半は、バスを利用しない者が、横断していることがわかった。今後は、バスを利用しない者に対しての、マナーアップを図る工夫が必要である。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合
実績値 \geq (目標値－従前値) \times 80%+従前値

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合
(目標値－従前値) \times 60%+従前値 \leq 実績値 $<$ (目標値－従前値) \times 80%+従前値

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合
実績値 $<$ (目標値－従前値) \times 60%+従前値

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない